



中高だより

5月号 第445号

武庫川女子大学附属中学校・高等学校

総務部総務課広報

A Little More

総務部長 廣瀬 仁美



先月号の巻頭言で、校長先生が紹介されていた渡邊和子さんの言葉を読み、ふと思い出したことをしたためたいと思います。

私自身、「置かれた場所で咲きなさい。」という言葉がずいぶん前に知りました。今でも心に残っています。この言葉の意味は、自分の周りの環境を言い訳にせず、自分にできる努力を続けようという意味だと思います。十年以上前には、学年集会の場で生徒たちにこの言葉について話したこともあり、生徒たちが「いい言葉だね。」と言っていました。どのような花を咲かせるのかは一人ひとり異なりますが、精一杯咲いた花は、その種類に関わらず美しいものだと思います。

世界中の人々が知る大谷翔平選手は、バッターボックスに立つと必ず相手チームの監督に挨拶をします。そのさりげない仕草がとても爽やかですね。彼はアメリカのメジャーリーグという場所で、自分のすべきことをただひたむきに努力し続けています。私たちの見えないところで、言葉の壁やケガなど、大変なことが今までにたくさんあったことなのでしょう。しかし、大スターになっても昔と変わることなく、誰に対しても誠実で一生懸命に前を向いて進もうとしているからこそ、多くの人々から尊敬され愛されて

いるのだと思います。まさに自分のいる場所でしっかりと根を張って生きている方だと思います。

皆さんは、人から聞いた言葉で、心を動かされたり、励まされたりしたことがありますか。私には幼い頃から家族によく言われてきた言葉がいくつかあります。その中でも特にお気に入りの言葉として、「a little more (もう少し)」という英語があります。これは、「もう少し頑張ってみよう」という励ましの言葉です。勉強をしていて、「疲れたからもうやめよう」と思うときに、「Try a little more.」と自分に言い聞かせ、あと5分だけ続けてみる。その積み重ねによって、結果的に多くの時間を学びに充てることができる——家族はその大切さを伝えなかったのだと思います。高い目標に向かって努力することは大切ですが、思うように結果が出ないと、落ち込んだり、気持ちが途切れてしまうこともあります。一度に大きなことを成し遂げるのは難しくても、小さな積み重ねであれば続けられるのではないのでしょうか。それが、「a little more」の意味です。

自分で自分の可能性に限界を設けず、もう少しだけ上を目指してみることで、可能性は広がっていきます。「どうせ無理」「自分なんか」といった言葉ではなく、「やってみよう」「自分にもできるかもしれない」といった前向きな言葉を大切にしてほしいと思います。

そして、高等学校を卒業する頃には、唯一無二の、自分だけの花を咲かせてください。

Try a little more, and you will be able to make beautiful flowers bloom in the future.

(何事にも、もう少し頑張ってみましょう。きっと素敵な花を咲かせられますよ。)

校外学習

中学1年

教室に集合し、バスで神呪寺に向かい、甲山森林公園、満池谷墓地を巡りました。天候に恵まれ、少し暑いぐらいの日差しの下、神呪寺では世良田校長のお話を聞いて武庫川学院の慰霊塔に全員で手を合わせました。甲山森林公園ではクラスで輪になってお弁当を食べ、レクリエーション「パースデーライン」「じゃんけん列車」「伝言ゲーム」を楽しみました。最後は、満池谷墓地を訪れ、厳かな雰囲気の中、校祖 公江喜市郎先生の墓前に入学を報告しました。

新しく出会った友達や先生と一日を共にし、お互いを知りながら、集団行動や学院の歴史についても学ぶことができました。



次に、甲山森林公園に移動したあと、学年レクリエーションとしてクラス対抗のバースデーチェンを行いました。互いにジェスチャーでコミュニケーションを取りながら競い合い、クラスメイトの誕生日を知るといった形で親睦を深めることができました。



最後に甲山森林公園を出て、公江喜市郎先生のお墓がある満池谷墓地に向かい、クラスごとにお墓参りをしました。天候にも恵まれて、落ち着いた気持ちで参拝することができました。徒歩での移動距離がこの一日で10km以上になりましたが、生徒たちはそれほど疲れた様子もなく、充実した一日になりました。

中学2年

中学2年生は奈良市内へ遠足に出かけました。

4月17日(木)は天候にも恵まれ実りの多い研修となりました。

朝は学校に集合し、バスに分乗して奈良市内へ。鹿たちを気にしながら全員で「大仏殿」へ。改めて大仏と大仏殿の大きさに圧倒されました。

その後、若草山へ移動し、学年全員でレクリエーション。全員で一つの輪になり「言うこと一緒、やること逆」をして盛り上がりました。クラスごとに昼食を取り、その後は班ごとに自由散策へ。「春日大社」「氷室神社」「興福寺」「奈良国立博物館」など、班ごとに事前に計画した場所を訪れました。新しいクラスメイトと一緒に行動し、友だちの輪を広げていきました。



高校2年

高校2年生は、昨年「探究の時間」で探究活動の一環として、今年の校外研修の研修地や実施内容を企画する取り組みを行いました。1年間かけて考え、選ばれた研修先は、4年半前に神戸港再開発地区にオープンしたátoaとメリケンパークです。午前中はアクアリウム(水族館)とアート(芸術)を融合させたátoa施設で、直径3メートルの球体水槽の中を舞う魚たち、日本庭園や能舞台をイメージした和の空間の床ガラスの下で悠々と泳ぐ錦鯉、様々な魚や大きな亀も見学するなど、素晴らしい研修になりました。



その後は、南京町で友だちとランチを満喫しました。お腹が満たされた後は、メリケンパークに移動し、学年全体で「メギメギカップ」をかけたレクリエーションを実施しました。

体を動かすレクリエーションが多く、白熱した戦いとなりましたが、見事優勝したのは1組でした。青空の下、大きな声で笑ったり、仲間と話したりしながら、学年全体で交流を深める、とても楽しい一日となりました。

中学3年

中学3年生の校外学習は、大阪府吹田市にある万博記念公園に行きました。

公園内にある国立民族学博物館でそれぞれのテーマで学習したのち、もみじ川芝生広場でのレクリエーションで、新しい学級での親睦を深めました。

晴天に恵まれ、新しい学年の良いスタートができた一日でした。



高校1年

高校1年生は、西宮市の神呪寺とその近くにある甲山森林公園を訪れる校外学習を実施しました。

まず、苦楽園口駅近くの河川敷から神呪寺を目指しました。最初は河川敷沿いの平坦な道でしたが、途中から上り坂の山道になっていきました。気温が上がってきたこともあり、なかなか大変な道のりでしたが、山の中腹にある神呪寺の境内からの眺めに生徒たちはとても感激していました。また、神呪寺や甲山の歴史、武庫川学院の関係者が祀られた慰霊塔についての講話を校長先生が行い、これを神妙な面持ちで静かに聞いていました。

高校3年

高校3年生は、「京の風に、青春をのせて」をスローガンにして、京都嵐山で校外学習を行いました。高2の正副委員長会の有志が中心になり、企画運営を行いました。スローガンには、風は形には残らないけれど、確かに感じられるものであり、それは青春や思い出と重なる。嵐山で過ごす一日は目には見えなくても、心に残り続ける記憶として未来へ運んでいくという意味が込められています。クラスごとにお寺を参拝し、昼食も含めて班活動を行い、最後は学年で渡月橋近くの河原に集合してレクリエーションを行いました。ロイロノートの共有ノートを使い「世界にひとつだけの嵐山マップ作り！」の企画もあり、クラスや学年の親睦を深める、今だからこそできることを楽しんだ、充実した一日になりました。



あしなが学生募金活動に参加

4月18日(土)・19日(日)、ボランティア部の生徒が第111回あしなが学生募金活動に参加させていただきました。あしなが学生募金は、毎年春と秋に、全国約120か所で街頭募金を実施しています。第111回あしなが学生募金にお寄せいただいたご寄付はすべて「一般財団法人あしなが育英会」に寄付し、国内の病気・災害・自死によって親を亡くした子どもたちや、親が障がいを抱え働くことが困難な家庭の子どもたちへの奨学金として使われます。参加させていただいた生徒たちは、阪急西宮北口駅で街頭募金ボランティアとして募金の呼びかけを行いました。



ホームカミングデー「鳴松会の日」

5月24日(日)は鳴松会の日です。「鳴松会」とは、武庫川学院の同窓会組織です。高等女学校、女子専門学校、高校、短大、大学、専攻科、大学院の卒業生、修了生が入会し、会員数は国内・海外あわせて20万人を超えるまでにになりました。令和8年度ホームカミングデー「鳴松会の日」5月24日(日)に関する詳しい情報はQRコードを読み取って、ご確認ください。



第40回記念サマーコンサート
一音一会 ~Make it count~

毎年恒例のサマーコンサートを今年も開催します。音楽系の4つのクラブ(オーケストラ部、コーラス部、箏曲部、マーチングバンド部)による演奏と有志の先生方を交えた合同演奏をお楽しみいただきます。

日時 令和8年6月7日(日)
開場 14時00分 開演 14時30分
場所 武庫川女子大学中央キャンパス 公江記念講堂

教員研修(人権講演会)
「子どもが安心できる学校づくり」

令和8年5月14日(木)、関西外国語大学の明石一朗先生をお招きし、「子どもが安心できる学校づくり」と題した教員研修を実施しました。今回は、阪私協総会後の講演会を、本校教職員も共に受講する形で行われました。

講演では、教育の根底には、医師が患者に接する際と同じく、「生命の尊重」「信頼」「良くなるという確信」という3つの共通点があることが強調されました。中高生が抱える学習・対人関係・自立への不安を和らげるためには、結果だけでなく「プロセス(過程)」を認めること、そして「見られ、認められ、あてにされる」という、存在そのものを大切にすることの大切さを学びました。

一方的な指導ではなく、対話を通して生徒に役割を任せ、小さな成功体験を積み重ねさせることが、自己肯定感を育む鍵になることも紹介されました。また、日々のコミュニケーションにおいて、適切な働きかけや、やる気を引き出す言葉かけが、生徒の積極性を高めることについてもお話いただきました。

さらに、人権とは特別なものではなく、誰もが「幸せを追求すること」であり、そのキーワードは「好感・共感・親近感」であることが示されました。今回の講演を通して、単なる知識として学ぶだけではなく、実際に出会いやふれあいを通じて、他者の状況を「自分事」として受け止めることの大切さを学びました。

正しく学び、深く「わかる」ことは、自分自身や周囲を「かわる(変える)」力につながります。誰もが安心して自分らしく過ごせる学校を、教職員・生徒・保護者の皆様と共に築いていきたいと思っております。

ブラウンスウィーク~誕生秘話~

5月7日(木)~11日(月)は、今年度最初のブラウンスウィークでした。この活動は、2009年に天皇陛下(当時皇太子殿下)が本学に行啓された際、イギリス・オックスフォード大学で催されるブラウンスウィークが話題にあがり、これに感銘を受けた大河原量理事長・学院長の呼びかけで2015年5月に始まりました。毎月一週間、「飢餓に苦しむ人たちに思いを馳せ、奉仕の精神を培う機会」として、玄米を使ったオリジナルメニューを提供しています。売り上げ、寄付金などを認定NPO法人「国連WFP協会」を通して、国連WFPに寄付しています。

本校でも、家政部による食堂メニューを考案したり、理系クラスの生徒が国際健康開発研究部門の家森先生にご指導いただき、玄米についての課題研究に取り組み、賞を受賞したこともありました。ぜひ、ブラウンスウィークをお楽しみください。

本校に関心のあるみなさんへ

◇中学入試説明会・校内見学・個別相談会

日時 7月12日(日) 10時~12時
入試説明会 10時~11時15分
校内見学・個別相談会 11時15分~12時
対象 女子小学生とその保護者
場所 本校

※ホームページよりお申し込みください。

校内生対象クラブ体験会

4月25日(土)、校内生を対象にクラブ体験会が行われました。この日、総勢196名の生徒がさまざまなクラブ活動を体験し、中にはその場で入部を決心した生徒もいたようです。本校には18の運動部、22の文化部があります。本校の部活動に卒業まで継続して取り組み、充実した学校生活を送る一助となることを願っています。

生徒会執行部より

4月20日(月)、役員認証が行われました。各委員の代表者からあいさつがありました。

杉本 桜永遠(生徒会長)

以前までは「役員任命式」という名称でした。しかし今年度からは任命されるのではなく、私たちが自分の意志で主体的に委員会活動をしていきます。だから、任命式という名称は変更させていただきました。

いろいろなことが新しく変わっていく中で、全校生徒のみなさんや先生方が柔軟な対応をしてくださるお陰で一つ一つがどんどん生徒主体になっていき、すごくよいものになっていると感じています。ありがとうございます。

三好 希実(企画運営委員会)

前期企画運営委員を代表して挨拶させていただきます。高校3年生の三好希実です。

私は高校1年生の頃から、学年の企画運営をしたり、図書情報委員としても活動してきました。

その中で、みなさんの学校生活を支えることの大変さとやりがいを感じ、これまでの経験を活かせる企画運営委員になりたいと思いました。みなさんがより楽しく充実した学校生活を送れるよう頑張ります。

石本 彩菜(生活整備委員会)

今年度の前期生活整備委員会を代表し挨拶する高校3年生の石本です。生活整備委員会は昨年度までの風紀委員会と美化委員会の仕事を行う委員会です。私事ではありますが、私は昨年度風紀委員会で副代表を務めさせていただきました。その経験を生かして、委員全員が任期終了後にこの委員に達成感を感じられるような委員会にしていけるように努力してまいります。

永原 聖恵(広報委員会)

広報委員会高校3年、永原です。広報委員会の一員として、学校の魅力や日々の活動を正確に、わかりやすく発信していきます。委員会の仲間と協力しながら、多くの人に学校の良さを伝えられるよう努めます。また、責任感を持って情報を扱い、信頼される広報活動を目指します。明るく前向きに活動し、学校全体を盛り上げていけるよう頑張ります。

佐野 桜子(学級正副委員長)

学級正副委員長として、クラス全員が楽しく安心して過ごせる雰囲気づくりを大切にしていきたいです。

高校生活最後の一年だからこそ、一人ひとりが目標に向かって充実した日々を過ごせるよう、周囲への気配りを忘れず行動していきます。また、学校全体の一人としての自覚を持ち、責任ある行動を心がけながら、自分自身も大きく成長していきたいです。よろしくお願いたします。

6月行事予定

日	曜	行事予定	阪神バス
1	月	〇	〇
2	火	考查通知表配布 ※ブラウンスウィーク(~5日)	〇
3	水		〇
4	木	保護者会(50分×3時間) 2限3限公開授業・(高校3年:3限学年行事)・保護者向け進路説明会・部活動保護者会	〇
5	金	教育実習終了	〇
6	土	休日	
7	日	日能研対象体験授業会(午前) 第40回記念サマーコンサート(14:30 公江記念講堂) 短期交換留学生受入セント・ラファエラス校(アイルランド5/23~6/7)	
8	月	A週水曜授業(H2・H3 5限総合・6限LHR)	〇
9	火	高3修学旅行(~12日 北海道) 高2宿泊研修(~11日 滋賀・京都) 中2ピッコロわくわくステージ	〇
10	水	高3修学旅行 高2宿泊研修 高1宿泊研修A班(~11日丹波)	〇
11	木	高3修学旅行 高2宿泊研修 高1宿泊研修A班 高1宿泊研修B班(~12日丹波)	〇
12	金	高3修学旅行 高2休業日 高1宿泊研修A班 第1回漢字検定中2~齊受検	〇
13	土	高3休業日 中高施設・授業見学会、大学施設見学会(午前)	〇
14	日		
15	月	B週 高3進路希望本調査(~29日) 高2文楽(午後)	〇
16	火	全校各委員会(16:50)	〇
17	水	短期交換留学生受入ガウディア校(フィンランド5/28~6/17) 短期交換留学生受入アルバカーキ校(アメリカ5/28~6/17)	〇
18	木	※高3先取り履修後期全体説明会・個別相談会(申込~26日)	〇
19	金	全校朝礼・表彰(8:35 AV1)	〇
20	土	休日 高1・高2総合学力テスト(希望者) 高3総合学力記述模試(希望者) 鳴尾地区清掃クリーン作戦(午前) ※幼稚園・保育園との異年齢交流会	
21	日	高1・高2総合学力テスト(希望者) 高3総合学力記述模試(希望者) 大学オープンキャンパス	
22	月	A週	〇
23	火		〇
24	水		〇
25	木		〇
26	金		〇
27	土	第1回漢字検定(希望者 午後)	〇
28	日		
29	月	B週	〇
30	火	期末考査(高校) 塾対象学校説明会(10:30~11:45 AV1)	〇